

# 令和5年上半期火災・救急・救助概要について

小松市消防本部

## 火災概要

令和5年上半期(1月～6月)の出火件数は8件で、前年に比べ5件増加しました。  
 建物火災は6件で、前年に比べ4件増加しました。そのうち住宅火災については4件で前年に比べ3件増加しました。また、火災による死者数は3名で全て住宅火災で発生しています。  
 出火原因としては「ストーブ」「電気機器」「たばこ」等となっております。  
 損害額については47,855千円で、前年に比べ全焼火災が増えていることから43,045千円増加しています。

区分		年	令和5年	令和4年	増減
火災件数	合計		8	3	5
	建物火災		6(住宅4)	2(住宅1)	4
	林野火災				0
	車両火災				0
	船舶火災				0
	航空機火災				0
	その他火災		2	1	1
焼損棟数			7	2	5
り災世帯数			6	1	5
面焼積損	建物床面積 (㎡)		455	53	402
	建物表面積 (㎡)				0
	林野 (a)				0
損害額 (千円別)	合計		47,855	4,810	43,045
	建物	建物	34,072	2,621	31,451
		収容物	13,469	607	12,862
	林野				0
	車両		14		14
	その他		300	1,582	▲ 1,282
死者数			3	1	2
負傷者数			2		2
焼火損元程度建物	全焼		4		4
	半焼				0
	部分焼			1	▲ 1
	ぼや		3	1	2
住宅用火災警報器設置件数 ( )は住宅火災件数			3(4)	1(1)	

## 救急概要

令和5年上半期(1月～6月)の救急出動件数は2,567件で、前年同時期に比べ401件、18.5%の増加となりました。1日あたりの平均件数は14件でした。

5年前の同時期と比較すると、564件、28.2%の増加となりました。

全体の搬送者のうち、約67.6%が65歳以上の高齢者でした。

搬送人員は2,359人で、小松市民の約45人に1人が利用したことになります。搬送した傷病者のうち約46.0%は軽症者でした。

区分		年	令和5年	令和4年	増減
救急出動件数	合計		2,567	2,166	401
	急病		1,648	1,352	296
	交通事故		139	126	13
	一般負傷		404	365	39
	転院搬送		281	258	23
	その他		95	65	30
救急搬送人員	合計		2,359	2,033	326
	急病		1,522	1,207	315
	交通事故		124	119	5
	一般負傷		372	401	▲ 29
	転院搬送		281	259	22
	その他		60	47	13
傷病者搬送年齢別	高齢者		1,595	1,392	203
	成人		562	502	60
	少年		64	66	▲ 2
	乳幼児		136	73	63
	新生児		2	0	2
傷病搬送程度別	死亡		64	72	▲ 8
	重症		232	258	▲ 26
	中等症		979	850	129
	軽症		1,084	853	231

## 救助概要

令和5年上半期(1月～6月)の救助出動件数は35件で、前年同時期に比べ4件増加しています。出動の約半数は交通事故によるものです。

救助活動件数は21件、救助人員は23人と前年同時期に比べ増加しました。

区分		年	令和5年	令和4年	増減
出動	件数		35	31	4
活動	件数		21	13	8
救助	人員		23	13	10